

# キーマンが結ぶ

東京都武蔵野市でシニア層を迎える多世代型のシェアハウス「リベストハウス吉祥寺」が1月に開設した。25歳以上を入居対象としており、50〜70歳のシニアとの同居がテーマ。幅広い層が集える場をめざし、地域交流の受け皿としても期待する。住宅コンサルティンクのシェアプロデュース(東京・杉並)が中核になり、地域に根ざした老後のすまいづくりに挑む。

「老人ホームしか行き場がないのは寂しい。一人暮らしはなおさら」。シェアプロデュースの山本久雄代表取締役(61)は、高齢者が抱える悩みをずっと気にかけてきた。不動産業界に長く身を置いた後、介護・

## シニア入居可能なシェアハウス



山本久雄氏

福祉サービスの支援業に転じた。シェアハウスに可能性を感じ、2010年5月に現在の会社を設立。これまで44カ所の開発実績がある。

10年7月にはシェアハウス普及、ルールづくりを担当

## 地域交流の受け皿に期待

ろ一般社団法人の日本シェアハウス協会(東京・杉並)を発足、協力メンバーを増やし、活動のすそ野を広げてきた。「脱法ハウス」が話題となり、風当たりが強くなったが「業界の健全化のため、きちんとした情報の発信を心がける」(山本氏)。

物件を紹介したのが不動産取引のリベスト管理(武蔵野市)。管理部の水間秀一係長はもとも「山本さんの物件を見学し、魅力を感じていた」といい、今回の計画には「自ら担当を希望して手を挙げた」。シェアハウスの入居者と触れる機会があり、「そこで見た生き生きした顔が忘れられない」。若者とシニアの共生を掲げるプロジェクトに熱意を持って臨む。

建物3階建て。扉や廊下、2階にあるレストランは明るく落ち着いたたたずまいにした。こつこつと内装、調度品などの細部に気配りするがTEAMスキマジヤパン(東京・杉並)の清水優紀代表。「入居者の目が押し寄せる。「吉祥寺モデルを全国に広げたい」(山本氏)とまずは端緒をつかみつつある。

(森園泰寛)

シェアプロデュース	山本久雄代表取締役(61、日本シェアハウス協会代表理事)
シェアハウスの企画・開発、運営管理のアドバイス。コンプライアンス策定、ルールづくり	
リベスト管理	水間秀一管理部係長(32)
シェアハウスへの転用で実務を担当。高齢者にとって快適な住まいづくりをめざす	
TEAMスキマジャパン	清水優紀代表(33)
入居者の視点になってシェアハウスの内装、家具などをそろえる。シェアハウス居住歴が約2年半	
Office W-being	響城れい代表(52)
掃除、片づけをコンサルティング。セミナー、講演を実施。家事代行サービスを支援	

「知られる雰囲気を出せば」と知恵を絞る。

今回の物件は入居者が施設内の清掃、共用部の洗濯などを分担し、報酬を手に行ける「ワークシェア」と呼ぶ仕組みを導入する。指導役となったのが、ハウスクリーニング事業のOffice W-being(東京・大田)。響城れい代表は「役割に責任感を持ち生活が規律正しくなる」とサポートする。

シェアハウスは28室あり、家賃は5万8000〜6万3000円。すでに40人ほどが応募し、20〜40歳の10人超の入居が決まった。50〜70歳で少なくとも6人の枠を準備する。これから募集をかけるが、すでに希望者からの問い合わせが押し寄せる。「吉祥寺モデルを全国に広げたい」(山本氏)とまずは端緒をつかみつつある。